

外部流入ファイル管理

SHIELDEX



アンチウィルスと ネットワーク分離だけで 標的型攻撃を防護 できると思いますか？

ネットワーク分離環境とメールシステム環境に最適化した標的型攻撃対策ソリューション

外部から流入/添付されるファイルに対して仮想化及び防疫(無害化)処理を行い、安全なコンテンツのみ内部へ搬入して搬入されたファイルの利用を監視することでPCの重要エリアへの侵入を遮断して保護するソリューション
(外部流入ルート: メール添付、USBディスク、ネットワーク分離環境間のファイル移動、インターネット)

APT(高度な持続型攻撃; Advanced Persistent Threat)は絶えず進化し、企業内の重要データをターゲットしています。






APTに対応するため業務ネットワークとインターネットとの網分離、シグネチャや行為分析、仮想環境での分析などのソリューションを導入して対策を立てますが、外部から流入されるファイルを分析することだけでは外部からの脅威から完全に防御できません。

SHIELDEX

建物のセキュリティのため「訪問者の出入り管理システム」を導入したことと同じくIT環境でも外部から流入されるファイルを監視するための「外部流入ファイルの管理ソリューション」が必要です。

SHIELDEXは外部から流入される全てのファイルに対して隔離(サンドボックス)、防疫(無害化)処理、監視、遮断しながら統制します。

訪問者の出入り管理システム

	内部と隔離された別途のミーティングルーム 出入証の発行は不要
	受付デスクで訪問者の出入り手続きを行う 出入証を交付後内部のエリアへ
	監視カメラや出入証による統制、位置追跡などの 方法で許可されたエリアのみ立入を許可
	重要な施設に対する関係者以外は立入禁止 訪問者や派遣者などの立入禁止エリアを設定
	警報発生、警備が異常行為を行った訪問者を 摘発後、退出

外部流入ファイルの管理ソリューション

	V-Room 外部流入ファイルは隔離された仮想環境上で 実行されるためLocal Systemへの影響は最小化
	ファイルの搬入 文書/実行ファイルに対する防疫(無害化)処理 外部流入ファイルへ識別マークを付ける
	流入ファイルの管理 動作をモニタリング、権限設定によるファイルの 重要なシステムエリアへアクセスを監視
	R-Area システムの改変/破壊が可能なエリアへのアクセスを 遮断、悪意のあるトライ時プロセス遮断
	セキュリティ違反 流入された危険なファイルの搬入ルートとユーザーを追跡 危険ファイルの実行遮断、削除、搬入遮断など対応

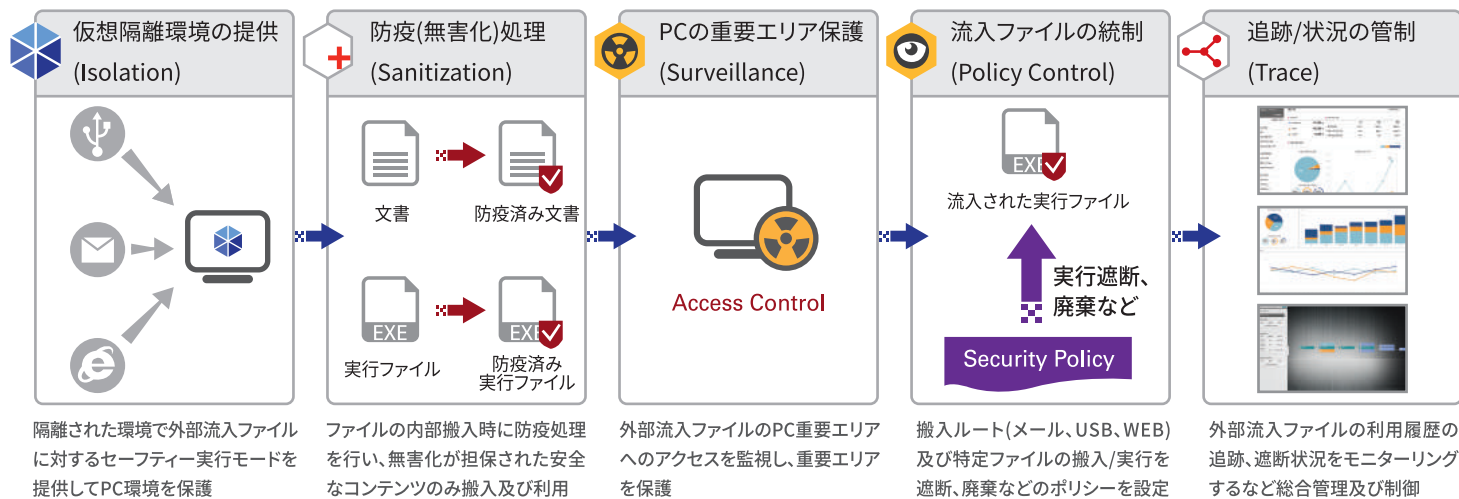
外部流入ファイル管理

SHIELDDEX

01 導入対象

1	ネットワーク分離/メールシステム環境で外部からの流入ファイルに対してセキュリティを考慮している企業及び機関	2	標的型攻撃に対するセキュリティ対策を検討している企業及び機関
3	ゼロデイなど未知の攻撃に対する対策の強化を検討している企業及び機関	4	金融/エネルギー/国防などサイバー攻撃からの潜在的対象になりやすい企業及び機関

02 重要機能



03 システム構成

